

# 湖都通信



58

2008.10.1

『湖医会賞』受賞者決定! . . . . . 2  
 留学私話 . . . . . 3  
 読者のページ . . . . . 4~5

学生のページ . . . . . 6~7  
 2008 年度総会資料 . . . . . 8  
 若鮎祭 . . . . . 9  
 LITTLE WINDOW . . . . . 10

2008 年度

# 総会のご案内

## 10月25日(土) / 基礎講義実習棟2階 A講義室

12:30~14:30

### 第7回 湖医会賞 受賞記念講演会



— 受賞者 —



研究領域

武蔵野赤十字病院 消化器科副部長  
 東京医科歯科大学医学部 臨床准教授  
 朝比奈 靖浩氏 (医8期生)

臨床領域

ちば県民保健予防財団総合健診センター 診療部長  
 千葉大学医学部 臨床准教授  
 橋本 秀行氏 (医10期生)  
 (詳しくは2ページをご覧ください)

15:00~16:00

## 総会【会則改正】

今総会には、「会則改正」という重要案件があがっております。会則は、「湖医会」運営の根幹をなすものであります。ぜひ総会に出席いただき、有意義な議論を戦わせてください!一人でも多くの会員の出席をお待ちしております。尚、ご欠席の場合は、同封の委任状の提出にご協力ください。メールでもOKです。

(資料は8ページ掲載)

出欠・委任は  
 返信用紙、メールで!  
**10月22日(水) 必着**

第7回となりました『湖医会賞』は、会員の皆様にもずいぶん周知されてきたのではないのでしょうか？募集期間は、総会の日から翌年の6月末までとなっています。今回は、選考委員会で慎重な審議の結果、2名に授与することとなりました。また、推薦者の方には、日々の勤務に忙しい中、選考会場まで足を運んでいただき、提出された資料に基づいた熱心な推薦の弁を述べていただきました。以下は、受賞者の紹介と選考理由です。

まず、朝比奈靖浩氏(医8期生)は、一般病院に勤務し日々の臨床業務をこなしながらも、豊富な臨床経験から patient oriented の臨床研究を行い、ベンチトップで得られた研究成果の臨床的意義の解明や臨床応用を行う中で、成果を挙げられました。さらに大学に依存することなく、独自に研究体制を組み、基礎的分野まで手掛けながら、臨床に立脚したユニークな研究を続けています。

滋賀医大卒業後、これまで一貫して肝臓病学、とくにウイルス肝炎と肝臓癌の診断と病態解明および治療法の開発に関わる臨床・研究に従事し、

その研究成果は、米国肝臓学会のメイン会場で講演を招請されるとともに、論文は Gastroenterology 誌や New England Journal of Medicine 誌等に掲載されていますが、これも評価の一つとなりました。

次に、橋本秀行氏(医10期生)は、千葉県を中心に、マンモグラフィと超音波を併用した乳ガン検診を全国に先駆け指導し、この5年間千葉県は、マンモグラフィ受診者数で全国1位を維持しています。そして、その受診者数の8割は、彼が診療部長を務める健診センターで占められています。また超音波検査の弱点(微細石灰化病変の検出)を補うため、メーカーと共同で微細石灰化検出フィルタを世界で初めて開発しました。このように手軽に受けられる超音波検査を活用して、検診率の向上につなげたことは、大いに意義があります。現在彼らの行っている乳癌検診は『千葉県方式』と呼ばれ、本法が全国に普及することで、全国の乳ガン検診率が上がれば、それだけ乳ガンの治療に貢献したことになると思われます。これらの点が評価されました。

選考委員は次の通り(敬称略)

委員長: 渡辺一良(「湖医会」会長)

委員: 野崎光洋(「湖医会」特別会員)

島田司巳(「湖医会」特別会員)

中島滋美(「湖医会」副会長)

茶野徳宏(「湖医会」副会長)

以上様々な検討の結果、2名が『湖医会賞』授賞にふさわしいという結論に達し、(メール)幹事会で承認され、『湖医会賞』受賞者に正式に決定しました。



#### 第7回『湖医会賞』授与式及び受賞記念講演会

日時: 2008年10月25日(土)

12:30~14:30

場所: 基礎講義実習棟2階 A講義室

<授与式>

12:35~ 賞状・副賞授与

<受賞記念講演会>

12:45~ 朝比奈靖浩氏 講演

演題:「ウイルス肝炎および肝がんの撲滅をめざした私の臨床研究」

13:30~ 橋本秀行氏 講演

演題:「乳がんの早期発見について」

受賞者の寄稿は次号に掲載いたします。

# アメリカ南部・アラバマ州を宜しく!



アラバマ州立大学バーミングハム校  
外科博士研究員

赤堀 浩也 (医19期生)



アラバマ州は22番目に誕生した州です。

はじめまして。2007年4月より、アラバマ州立大学バーミングハム (University of Alabama at Birmingham) 校に留学している19期生の赤堀と申します。



英国『バーミングハム』から名付けられた、アラバマ州バーミングハム・・・“アラバマ州”と聞いて『何処?』、さらに“バーミングハム”と続くと、『本当に米国??』という反応が返ってきそうなので、まずはこちらの紹介からしたいと思います。

22番目に誕生したアラバマ州は、近代史的には、南部州の政治的中心都市(南北戦争時には南部同盟の議事堂が設置)として、現在は、『南部のデトロイト』と呼ばれる程の自動車産業(世界の主要自動車メーカー; ベンツ・トヨタ・ホンダ・ヒュンダイ等の生産工場の進出)をはじめ、北部の宇宙防衛産業、中部地区の金融やバイオ産業など、東南部州の産業中核州として発展する、フロリダ州の西に位置する州です。



州出身の著名人には、三重苦と闘ったヘレン・ケラー、ジャズの王様ナット・キング・コール、カントリーミュージックの巨星ハンク・ウィリアムス。スポーツ界では陸上のカール・ルイス、不滅の世界ヘビー級チャンピオンのジョー・ルイスなど。現役では、コンドリーザ・ライス国務長官が有名でしょうか。

州最大の経済都市であるバーミングハム市は、気候が良く物価は安く、医療施設や公共施設が充実。さらに文化・芸術・教育・スポーツ・レクリエーションの面で

も満たされているため、『全米市長会議』や『NEWSWEEK 誌』で、“最も住みやすく、働きやすいホットな街トップ10”に取り上げられるほど、生活に便利な街です。さらに南部気質(信仰心が厚く、フレンドリー)に溢れた人達が多いので、すぐに自分も馴染むことができました。



今回の留学のきっかけは、大学院生の時に参加した国際学会でした。谷徹教授(外科学講座)をはじめ教室の先生方の協力を戴くことができ、こうして留学できたことは本当に幸運だと思っています。

吉川前学長から学位記を頂いた翌日、新しい環境への期待と不安が入り混じりつつも、『ま、何とかなるだろう』という安易な気持ちで渡米しましたが、現実はその甘くはありませんでした。



ラボで待ち受けていたのは、“3~4歳児”扱いでした。全ては、英語ができないうがため・・・自分の無力が原因でした。同僚の研究者に助けてもらいながら、『何とか、辛うじてもった』というのが、最初の数カ月の感想です。現在は、カンファレンスで多少の議論はできているでしょうか? 一方、ラボ以外の時間は、快適に過ごしています。平日は実験で忙しいので、週末はなるべく出掛けるようにしています。1年目は、隣接する州(フロリダ、テネシー、ジョージア等)を車で旅行して満足していましたが、今年に入り“3連休があれば飛行機で遠出”というカードが加わり、『旅行』の醍醐味を味わっています。

もちろん現地での交流も大切にしています。可能な限り、こちらで知り合った人々と接しています。おかげでありきたりですが、自分の中の『物差し』の幅が広がったように感じます。異文化で育った人達と交流することで、“日本の常識が常識ではない”ことを痛感し、生まれ育った日本という国を、また自分自身を見つめ直すことが少なくありません。



さて今年は、スポーツと政治のビッグイベント(北京五輪とアメリカ大統領選挙)が重なる年でした。

オリンピック中継を異国の地で見るのは初めてでしたが、当然TV中継は、米国代表選手が出場する種目ばかり。辛うじて、競泳の北島選手の活躍を見ることができましたが、消化不良でした。一方、アメリカ大統領選挙情報は、連日耳にします。稀に見る激戦だった民主党の大統領候補者選挙(オバマ氏とヒラリー氏)は、どちらが選ばれても『(黒人 or 女性)初』という冠がつけだけに、国民の関心も例年以上に高かったようです。自分も結構楽しめました。現在、民主党と共和党候補者による最終選挙の最中ですが、アメリカならではの長期にわたる壮大なスケールの大統領選挙を堪能しようと考えている今日この頃です。



12月(曜日問わず)、色んな教会でクリスマスイベントが開催。沢山の方と知り合いになりました。



# 院長誕生物語



独立行政法人国立病院機構  
滋賀病院 院長

井上 修平 (医3期生)

今回、縁あって7月1日から滋賀医大の卒業生としては初めての国立病院の院長となってしまいました。私は1957年に九州で生まれ、公務員の家庭で育ち、ずっとスポーツに明け暮れていました。高校を卒業するときも漫然と大学受験をし、鹿児島大学工学部電子工学科に合格しましたが、入学式が近づくにつれこのままでは普通のサラリーマンになってしまうという変な危機感を覚え、結局一日も大学に行かずに浪人生となってしまいました。

その時点で初めて自分の人生を考え(プロスポーツの道をあきらめ)、医学部、しかもかっこいいと思った外科医(心臓血管外科または脳外科)になろうと思いました。しかしそれまで受験勉強をしていなかったため、夏頃はどこの医学部も遠い存在でした。予備校の先生の教え方が素晴らしい、秋を過ぎる頃にはまあまあの学力となり、目出度く滋賀医大に合格しました。こちらに出てきたのは、九州では民放が2チャンネルしかなく、田舎過ぎるのが最大の理由でした。

その後、部活(バレーボール、ワンゲル部)と麻雀に明け暮れた学生生活を送りましたが、学生になってポリクリで初めて手洗いをして開腹中の臓器を触った時に、触れるまではこの臓器はどんな硬さで、どんな感触だろうと思いつきながら手を出したのに、覚えているのは「解剖実習と違って、何と温かいのだろう!」と感激したことです。それでますます外科医へのあこがれが増していきました。

そして1983年に滋賀医大を3期生と

して卒業し、第2外科に入局しました。その時代は現在と異なり、先輩たちの魅力ある誘惑で各医局への入局を決められ、第2外科は全ての外科をローテーションしてから専門の科を選べるメリットがありました。入局後、消化器外科と心臓血管外科をそれぞれ6ヶ月間研修し、2年目からは呼吸器外科を専攻しました。初代教授が岡田先生であり、大先輩にあこがれて呼吸器外科医への道を選択しました。

その後、1985年8月からは独立行政法人国立病院機構南京都病院で呼吸器外科診療に携わると同時に、結核医療も経験してきました。1995年6月には母校の滋賀医大第2外科に助手として赴任し、後輩の指導にあたりると共に、各学会の認定医、専門医、指導医を取得し、同時に論文博士も授与されました。その後、2000年12月に比良病院と八日市病院が統合され、初代の呼吸器外科医長として国立滋賀病院に赴任し、新規に呼吸器外科を立ち上げました。呼吸器外科としては、この地域に呼吸器疾患を専攻する病院・医師がいなかったため順調に立ち上がり、これまでに1700人を越える入院患者数、1000件を越える手術数(肺癌手術数は300例)となり、事実上、呼吸器疾患センターとして機能しています。この間、2005年4月から外科診療部長、2006年4月からは統括診療部長兼医療安全管理室長、そして今回、2008年7月1日から病院長という責任ある立場に就任することとなりました。



しかし病院としては新臨床研修システム導入後に滋賀県からの京都府立医大医師派遣引き揚げにより、相次いで規模及び診療機能が縮小され、ついには常勤内科医が居なくなってしまうという事態となってしまいました。そのため滋賀医大の関連施設として生まれ変わるために、私が院長職を拝命しました。これまで呼吸器外科を発展させるためには、いつも大学からのバックアップおよび信頼できる仲間、それと自分たちに期待していただいている患者さんたちがいました。

これからは滋賀県の中核病院として再生するために、滋賀医大の卒業生を中心に全ての科(内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌内科、神経内科、整形外科、耳鼻科、脳外科、麻酔科等)を充実させなければなりません。新臨床研修システム導入のため日本中の医療が破綻し、大学でも人材不足となっていますが、当院への医師派遣は大学にとっても大きいメリットがあると思います。大学の渉外委員会にも医師派遣をお願いしてありますが、「湖医会」の応援も何卒宜しくお願い致します。

滋賀医大の卒業生で、われこそは滋賀病院を一緒にたて直そうと思われる方は、是非とも当院赴任希望を教室でアピールして下さい。皆様の力、協力でいい病院作りをしていきたいと思っています。また最後に、家庭も顧みず自分の好きな仕事を精一杯してきた陰には、理解ある家族の応援があったことに感謝しています。



写真1 (2007年、トロント市内のステーキハウスにて。  
左から藤谷(昌)氏、林氏、長縄氏、筆者、大野氏、中川先生)

# 『「湖医会」トロント支部会(?)』開催!

カナダ・トロント小児病院 小児麻酔科 クリニカルフェロー

田中 基 (医12期生)

「湖医会」の皆様、こんにちは。医12期生の田中基と申します。私は産科麻酔および小児麻酔のトレーニングのためにカナダ・トロント大学麻酔科へやって来て、まもなく3年になります。



現在(2008年9月)、トロントには岡徳彦氏(医17期生、トロント小児病院、心臓外科クリニカルフェロー)、藤谷昌司氏(医17期生、トロント小児病院、リサーチフェロー)、藤谷真弓氏(医17期生、トロント小児病院、リサーチフェロー)および私の4名の滋賀医大卒業生が在住しています。(名前が抜けた方がいらっしゃいましたら、ごめんなさい。)



トロントにおける滋賀医大卒業生の特徴は、既に帰国された松林景二氏(医12期生、St. Michael Hospital 心臓外科クリニカルフェロー(当時))、平崎裕二氏(医15期生、Toronto General Hospital 心臓麻酔科クリニカルフェロー(当時))等をはじめ、決して簡単ではない英語の試験に合格して、実際に患者さんの診療を行う「クリニカルフェロー」も多いことが挙げられます。クリニカルフェローもリサーチフェローも、北米での経験を日本で生かせるようにと頑張っています。



さて、事務局非公認ながら『「湖医会」トロント支部会(!?)』が2007年、2008年と、二年連続開催されましたので御報告申し上げます。事の起こりは2007年9月、岡氏の尽力により、滋賀医大学生(4回生)のトロント小児病院での病院実習が実現したことに始まります。我がヨット部の後輩でもある4回生(当時)の林亜揮子氏と永縄由美子氏にトロントでお会いでき、更に偶然にも同じ時期にトロント小児病院を視察のために滞在されていた中川雅生先生(滋賀医大治験管理センター准教授)、大野雅樹氏(医1期生、京都女子大教授)もお迎えして、トロント市内のステーキハウスにて『第一回(自称)「湖医会」トロント支部会』が盛大に?開催されました(写真1-左上)。

本年(2008年)は私が産科麻酔科から小児麻酔科へと職場を異動し、岡氏と一緒に仕事をする機会もできました。滋賀医大からは昨年同様9月に岡氏の尽力により、4名の4回生(石垣隆弘氏、笠原真吾氏、角埜紗智子氏、益田さやか氏)が二組に分かれてトロント小児病院において病院実習を行いました。手術室では、術者は岡氏、麻酔は私が担当し、滋賀医大の学生さんが手術見学、というカナダ人の看護師さん以外は全員滋賀医大生というハプニング(?)があったりもしました。夜の『「湖医会」トロント支部会(宴会)』は、中華料理店やポルトガル料理レストラン等に於いて、数回に分けて開催され(写真

2-右下)、病院内とは異なり日本語で存分に話せる楽しい会となりました。

全く異なる道を歩んできた同窓生が、「母校の絆」に結ばれて、滋賀から遠く離れた異国の地において、世代を越えて交流できたことを大変嬉しく、そして心強く思いました。「湖医会」の輪が世界に広がる中、会員の皆様の更なる御活躍を祈っております。



写真2(2008年、トロント市内のバーにて。  
左から笠原氏、岡氏、筆者、石垣氏、角埜氏、益田氏)

## 【湖医会】からのお願い

★えっ、こんなところに卒業生が・・・★  
海外留学中の会員から「海外在住の人は、誰がどこにいるの?」という問い合わせが多数あります。現在海外留学中のみなさん、どこでいつまで何しているを、メールで事務局までお知らせください!

海外情報交換の場をつくりましょう!!

[koikai@koikai.org](mailto:koikai@koikai.org)



# 学生さんの声をお届けします

第10回関東支部会が、去る8月23日(土)東京品川プリンスホテルで開催されました。当日の『ミニ講演会』では、下田和孝氏(医3期生)、西村明儒氏(医7期生)が、他では聞けない貴重な話をされ、盛況のうちに終わりました。この関東支部会には、卒業生のご厚意により、毎年学生は、会費無料で参加しています。

また先輩方の後輩への暖かい思いやりの気持ちは、昨年からの「西医体応援キャンペーン」や、さらに『文化会』への応援キャンペーンでも伝わっていることでしょう。

いまや卒業生は、日本はおろか世界に出て活躍し、それぞれが立派に輝いています。その卒業生の組織が、同窓会「湖医会」であり、学生のみなさんも入学時から「湖医会」の正会員です。このように様々な活動を通じて、学生のみなさんと先輩との橋渡しの役目を「湖医会」が担い、今後も学生のみなさんを、大いにサポートしていきます!!

以下は、後輩達(学生)からのお礼のメッセージです。  
(関東支部会の模様は、次号でも紹介させていただく予定です。)

私は今回、初めての参加ということで少し緊張感もありましたが、始めてみればOBの先生方は気さくな方ばかりで時間いっぱいまで楽しく過ごすことができました。講演の内容も非常に分かりやすく、そしてためになる内容だったので、ぜひ今後の参考にさせて頂きたいと思います!このような会に参加させて頂き、「湖医会」の先生方、取り次いで下さった担当の方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

(医5回生 瀬戸克年)



懇親会の際、いろいろな先生に声をかけていただき、普段聞けないような裏話や昔の滋賀医大の様子などをたくさん聞かせていただきました。とても楽しく、あっという間でした。ありがとうございます。

(医1回生 石原幸)

今回はお二人の先生方にご講演を賜ることができ、少し難しい部分もありましたが、薬理などを既に履修し終わっておりましたので、大まかには理解できたと思います。なるほどと思える部分や、意外に思える部分があり、大きな収穫でした。懇親会では、女性医師として活躍されている先輩方ともお話ができ、仕事と家庭の両立は簡単ではなさそうですがエネルギーに注がれていることが伺えて、自分の将来の方向性が見えた気がいたしました。

また、今まであまり関心を持っていなかった科の先生方ともお話させていただきましたが、授業や教科書からはわかりにくい「やりがい」や、メリットなども垣間見ることができました。まだ目標を一つに決めず、視野を広げることも大事だと気づかされました。とても有意義なひとときを過ごすことができましたことに感謝いたします。(医学科)

初めて関東支部会に参加させていただきました。今回看護師さんはあまり来られていなかったのですが、先生方がいろいろな話をしてくださり、とても勉強になりました。講演会の内容も大変興味深く、ためになる話ばかりでした。限られた時間でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。貴重な機会をありがとうございます。

(看3回生 鷲見麻衣子)

大学でお勤めの先生、開業されている先生、公衆衛生にかかわる先生などさまざまな分野でご活躍されている先輩方から貴重なお話を伺うことができました。出身地が東京のため、関東での就職を目指して病院見学を進めております。先輩方のアドバイスを元に、研修先や研修後のキャリアプランを考えたいと思います。(医5回生 村上義彦)

関東支部会に参加させていただきありがとうございました。当日までは、自分にはまだ難しいかなと思っていた講演も、聞いてみると非常に面白く、関東の第一線で活躍されている先生方の存在は、非常に心強いものであり、励みにもなりました。また、関東に就職された研修医の方々が来られたことも、非常に嬉しいものでした。まだまだ右も左もわからぬ学生ではありますが、貴重なお話をたくさん聞いて大変勉強になりました。(医学科)

一回生ですので、まだ授業の殆どが一般教養で、正直なところ医学部に入学した実感をあまり抱けないうまま夏休みを迎えることとなりました。そんな折、今回東京の実家へ帰省ついでに出席致しましたが、滋賀医大の先輩方が実際に医師として様々なフィールドで活躍されているお話を直に伺うことができ、大変触発されるとともに、自分自身も医師として将来的にどのような方向を志すかを考える良い契機となりました。このような機会を与えて下さったことに感謝しております。(医学科)

卒業後も定期的集まり、同じ地域で働く者同士交流できる機会があるのは素敵だなと思いました。下田先生の薬のオーダーメイド医療の講演では、飲み合わせや体質で薬物の効果が全く変わってくるといってお話を聞き、薬理学をもう一度ちゃんと勉強しようという気持ちが強くなりました。また、西村先生の震災で亡くなった方から学ぶ防災対策の講演では、地震で何が起きて人が亡くなるのか、どのようにしたら被害を最小限に抑えることができるのか、というすぐにでも役に立つお話がたくさん聞いて目からうろこでした。その後の懇親会では女性の先生方に、仕事と出産、子育てについてお話を伺うことができ、大変励みになりました。気軽な気持ちでとびこんだのですが、得られたことがたくさんあり出席させていただき本当に良かったです。

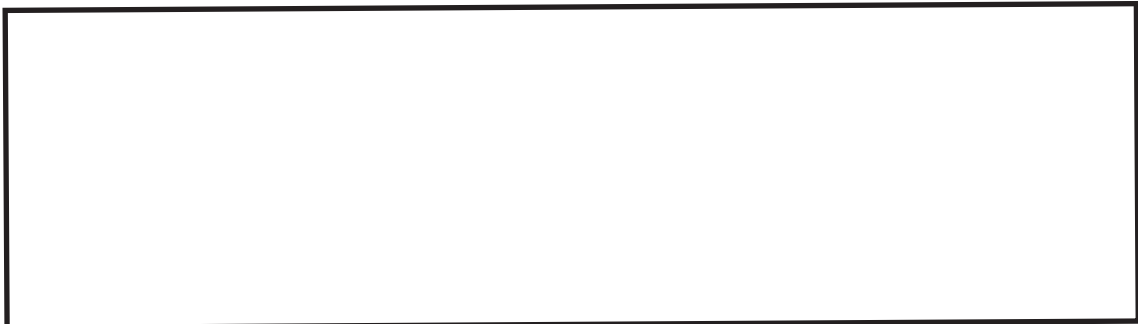
(医4回生 田中仁美)

関東支部会に出席する前は場違いにならないかと不安な思いもありましたが、先生方はみな気さくに話しかけてくださり楽しい時間を過ごすことができました。関東で働くといっても漠然としておりイメージも湧きにくかったのですが、このように実際に働いている先生方の生の意見を聞くことができ大変参考になりました。また部活の異なる先生方とはなかなか交流できる機会もなく、今回は大変貴重な経験となりました。今後もこの輪が広がっていくことを期待しています。(医5回生 玉井雄大)



お二方の講演、興味深く拝聴させていただきました。特に西村先生のご講演は現在の自分にも関係する内容であったため、何か参考にさせていただこうという気持ちで聞いておりました。

ご講演の後、さまざまな先生方と直接お話できたのも非常に良かったです。研修先や研修後の就職先についてのアドバイスをいただけましたし、自分が思っている以上に医師が必要とされている場が多いということを知ることができました。学生のうちにこのようなことを知る機会があつて良かったです。(医学科)



# 差し入れありがとうございました!



## 「西医体」 「文化会」 応援キャンペーン



<バドミントン部>

スポーツドリンクの購入費として使わせていただきました。おかげさまでとても有意義な西医体を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。また、OB戦、OB会などではお待ちしておりますので、ご都合があげばぜひ協力下さい。よろしくお願いいたします。(男子バドミントン部)

OB、OGのみなさん、応援本当にありがとうございました。最初は全然勝てなかった私たちですが、それでも応援し続けてくださるみなさんのおかげでがんばり続けることができました。次のチームでも、もっともっと強くなるべくがんばるので、応援ぜひよろしくお願いいたします。ありがとうございます。(女子バスケ部)

応援ありがとうございました。結果は二回戦敗退でしたが、バレー部全員一丸となって怪我なく大会を終えられて良かったと思います。差し入れていただいた飲料もありがたくいただきました。(女子バレー部)



<バレー部>

現在コンピュータ部は20名以上の部員で活動を行っています。今日電子カルテなど様々な用途で電子化が進み、技術者のみならず、医師、看護師にもコンピュータの知識が求められています。そういった知識を身につけるため、コンピュータ部では資格試験を取得するための勉強会の導入なども考えています。ただ、部員が多いため機材やソフトなどが常に不足し、この寄付を機材の購入に充てさせていただきました。また、OB会なども企画させていただきますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。(コンピュータ部)

応援、そして差し入れありがとうございました。全て使わせて頂きました。おかげで総合優勝(5連覇)という最高の結果で終わることができました。来年も頑張ります。(ボート部)



<サッカー部>

ソフト部に差し入れをして下さり、誠にありがとうございました。先生のお心遣い大変感謝しております。大会で結果を残せるよう、持っている力を出し切れるよう頑張ります。試合の組み合わせや試合結果は、後ほどOBメーリスでお知らせします。本当にありがとうございました。(ソフトボール部)

差し入れは大会中有意義に使わせて頂きました。ありがとうございました。今年の西医体は三回戦敗退でベスト16という不本意な結果に終わってしまいました。来年度は新主将の澤山をチーム一丸となって盛りたてて今年以上の成績を狙いますので今までと変わらぬ、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。また、11月にはOB戦も予定しておりますので、ぜひお越しください。お忙しいとは思いますが、これからの滋賀医大サッカー部をよろしくお願いいたします。(サッカー部)

OB、OGの先生方、先輩方、いつもご支援ご指導ありがとうございます。今回、西医体におきまして男子はbest16、医学科女子は優勝、西コメディカル大会におきまして看護科が優勝、という結果を残すことができましたのも、先生方、先輩方のおかげです。本当にありがとうございました。また次の近医体、西医体もがんばりますので、応援よろしくお願いいたします。(女子テニス部)

本年度の西医体は広島で行われましたが、事故などもなく、また試合中の熱中症などもなく終了することができました。本当にありがとうございました。ゴルフ部の結果は32校中17位と奮わなく、良い結果を報告できなく本当に残念です。最後になりましたが、この度は御多忙の中ご寄付を戴きまして本当にありがとうございました。(ゴルフ部)

OB、OGの皆様、写真部に御寄付をいただき、本当にありがとうございました。今後の部活動のために有意義に使わせていただきます。今年の学園祭でも例年通り、写真展示をいたしますので是非お越しください。部員一同お待ちしております。これからもご支援ご指導よろしくお願いいたします。(写真部)

今年の西医体では思うように結果が出せませんでしたが、また来年よい成績を残せるようこれから精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。(ヨット部)



<野球部>

結果は残念なものに終わってしまいました。野球部はこれからも新キャプテンのもと頑張っていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いいたします。(野球部)

# 2008年 滋賀医科大学同窓会「湖医会」総会 主な資料

誌面の都合上主なものを掲載します。また10月初旬に開催される幹事会で承認されたものが総会の資料となりますので訂正される場合があります。最新の資料が必要な方は<http://www.koikai.org>を参照いただくか、事務局にご連絡ください。

## 主な議題

### 1, 2007年度事業報告(主なもの)

- 1) 『医師賠償責任保険』の団体加入を実現し、保険料が15%引きになった。
- 2) 年会費の口座引落が可能になった。
- 3) メールアドレスのある会員に「湖医会メール」配信を定着させた。

### 2, 2008年度事業計画(主なもの)

- 1) 正会員である学生へのサポートを充実させる
- 2) 会員向けサービスの充実を図り、展開する
- 3) 病院情報サービスの充実

### 3, 2007年度一般会計決算報告内訳・・・下記参照

### 4, 2008年度予算(案)・・・下記参照

### 5, 会則の修正

- 1) 「学生会員」の正会員化に伴う変更
- 2) 「湖医会」の活動に則したものに変更

### 6, 会則の修正に関連する規定の充実

### 7, 年会費について

- 1) 永年支払い会員の特典について
- 2) 口座自動引落の特典について など

**委任状はメールでも受付可能です!必ずご提出ください**



### 感謝の気持ちを忘れない・・・

### 10/25・26は「ありがとう記念日」!!

残暑厳しく、集中豪雨など異常気象にも見舞われた夏もようやく終わり、木々の葉も色づいてまいりました。先輩方におかれましてはますますご健勝のことと存じ、お慶び申し上げます。医療情勢は日ごとに激しさを増していく昨今ですが、その中で何ができるか、何を学んでいくかを考え、学生一同、先輩方の築いてこられた伝統を受け継ぎ、更なる飛躍を遂げることができるよう精進してまいり所存でございます。

さて、今年も若鮎祭の季節が近づいてまいりました。今年で第34回を迎えます。今年は「ありがとう記念日」をテーマに、先輩方をはじめとする大学関係者の皆様、地域の皆様、来場者の皆様に感謝の気持ちを表すとともに、来ていただいた皆様にも毎日の感謝を意識するきっかけとしていただきたいと思い、活動してまいりました。

今年も、特別講演会として第7回『湖医学会賞』受賞者の朝比奈靖浩先生(医8期生)、橋本秀行先生(医10期生)による受賞記念講演会を、滋賀医大同窓会「湖医学会」との共催で企画しております。他、『チーム・バチスタの栄光』の著者である海堂尊氏による講演会、女性陶芸家の草分けであり骨髄バンク設立にも尽力された神山清子氏による講演会も企画しております。

一人でも多くの先輩方にお越しいただき、感謝の気持ちをお伝えできるよう努力しております。お忙しいとは存じますが、ご家族・ご友人などお誘いあわせの上、是非足をお運びいただきたいと実行委員一同心から願っております。

若鮎祭実行委員長 森田 康大

#### 第7回『湖医学会賞』受賞記念講演会

10・25(土) 場所:基礎講義実習棟 2階 A講義室

『湖医学会賞』授賞式 12:30～

『湖医学会賞』受賞記念講演

12:45～ 朝比奈靖浩氏

(医8期生、武蔵野赤十字病院消化器科副部長、東京医科歯科大学医学部臨床准教授)

演題:「ウイルス肝炎および肝がんの撲滅をめざした私の臨床研究」

13:30～ 橋本秀行氏

(医10期生、ちば県民保健予防財団総合健診センター診療部長、千葉大学医学部臨床准教授)

演題:「乳がんの早期発見について」



#### メイン企画

☆健康チェック・測定コーナー☆

10・25(土)、26(日) 10:00～16:00 体育館

☆巨大迷路☆

10・25(土)、26(日) 10:00～16:00 体育館

☆スタンプラリー☆

10・25(土)、26(日) 11:00～17:00 全域

☆講演会☆

場所:臨床講義棟第3講義室

・海堂尊氏講演会 10/25(土) 開演15:00～17:00

・治験センター講演会 「くすりがあるのに使えない?!」

10/26(日) 12:30～開場 13:00～16:30

☆フットサル・ソフトボール大会☆ 10・26(日) 10:00～17:00 グランド

#### ステージ企画

☆10/25(土)☆

10:00～10:30 開会式  
10:30～12:00 キングオブアスリート  
12:00～15:00 軽音ライブ  
15:00～15:30 ダブルタッチ  
15:30～16:30 フィーリングカップル  
16:30～17:00 アカペラライブ①  
17:00～17:30 滋賀医大のアイドルライブ  
17:30～18:00 Mr.&Ms 滋賀医 中間発表  
18:00～20:00 キングオブエンターテイナーズ

☆10/26(日)☆

11:00～12:30 Newクイズ  
12:30～13:00 模擬店・企画CM  
13:00～13:30 世界の中心でありがとうを叫ぶ  
13:30～14:30 ビンゴゲーム  
14:30～15:00 アカペラライブ②  
15:00～16:00 ダンス  
16:00～17:00 ファッションショー  
17:00～17:30 アカペラライブ③  
17:30～18:00 Mr.&Ms 滋賀医 発表  
18:00～19:00 よしもと芸人ライブ  
18:00～20:00 フィナーレ

☆☆詳しくは、<http://www.shiga-med.ac.jp/~wakaayu/>にて随時情報更新中☆☆



木築 野百合 (医5期生)  
みんな頑張っている様子が伺えました。バドミントン部は男女とも個人戦ダブルスがベスト8入賞、男子のシングルス3位は見事です。これからもがんばってください。

森島正樹 (医7期生)  
**祝 西医体ボート総合五連覇**  
四万十川へ行って参りました。通算、14回目の優勝にて初めて念願の五連覇を成し遂げました。滋賀医大では初。大会規約に基づいて、早速、記念旗を作らせて戴く手続きに入ります。関係各位の皆様、温かい御支援を賜り誠に有

難うございます。OB、OGの御厚情なくして達成できなかった大記録と存じます。従前の四連覇、飛び石四連覇に続く、この17年の伝統の力であり、一部のスター選手だけで築いた一過性のブームではありません。これからの活躍、さらなる発展を期待します。いや～しかし遠かった。

### ご案内

## 同期会のお知らせ

★卒後20年同期会医学科8期生  
2009年3月14日(土)開催  
★卒後10年同期会医学科18期生  
2009年2月14日(土)開催

★卒後10年同期会看護学科1期生  
2008年11月22日(土)開催  
★卒後5年同期会看護学科7期生開催予定

### 訃報

新井良八氏(滋賀医大解剖学講座生体機能形態学部門教授、医2期生)が、8月25日ご逝去されました。  
新井氏は、1996年、藤田衛生大学に滋賀医大卒業生として初めての教授に就任し、2000年には卒業生初の滋賀医大教授として解剖学第1講座(当時)に着任し、現在も活躍中でした。  
謹んでお悔やみもうしあげます。  
追悼文は次号に掲載いたします。

### 平成20年度名簿

2009年3月発行予定の名簿は、**3年分(2005,2006,2007年度)**の「湖医会」年会費納付された方にお送りいたします。

### 若鮎祭模擬店

## おとくチケット

10月25日(土)・26日(日)に行われる、「湖医会賞」授与式・講演会や総会にご参加いただいた会員に、若鮎祭の模擬店で使える「おとくチケット」を会場でお渡しします。  
ご家族連れでお楽しみください。

### 2008年度 滋賀医科大学看護学科 保健師部会からのお知らせ

初秋の頃、保健師の皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様は日々それぞれの現場でご活躍されていることと思います。今年度も恒例の保健師仲間との交流会を開催します。是非ご参加ください。

日時:平成20年12月13日(土)  
受付:17時45分～ 開宴:18時～  
場所:がんこ寿司 京都駅ビル店  
会費:お一人様 5,000円

### 大学からの ご案内

### 琵琶湖プライマリケア・リフレッシュコース開催のご案内

(プライマリケア医の生涯学習促進を目的とした実用的なセミナーです!)

テーマ:皮膚疾患のプライマリケア  
講師:平本 力 先生(石岡・平本皮膚医院院長)  
日時:2008年11月30日(日)  
午前9時55分～午後5時  
場所:ピアザ淡海 会議室

詳しくは同封の別紙をご覧ください。

### お知らせ

口座振替および一般VISAカードからの「湖医会」年会費は10月中旬以降に自動引き落としとなります。  
なお、便利な口座引き落とし振替用紙ご希望の方は事務局までご連絡下さい!!



総会の 委任状はメールで!

\*\*\* e-mail: koikai@koikai.org

ご協賛  
ありがとうございます

株式会社三和化学研究所  
ヤマサ醤油



中外製薬株式会社  
日本ケミファ株式会社



ヤンセンファーマ株式会社  
(順不同)